

2025年問題 介護・医療の対策は

角田 龍仁議員



保健事業、介護予防を一体的に実施する
保険福祉部長

問 高齢者の福祉の増進を目的とした事業の一つである、老人クラブの今後の見解は。

答 高齢者が増加している中で、老人クラブの会員が減少しているため、全体的な見直しも必要ではないかと考えている。

問 高齢者の移動手段となる高齢者福祉タクシーなどの利用を望む声が増えると思われるが、今後の市の方針は。

答 昨年度の利用者は約2千人で、申請率は約20%、申請者の使用率も約25%で、対象者や条件も含めて検討している。

問 2025年問題で、介護費及び医療費が増大すると思われるが市の対策は。

答 高齢者が健康で生活できる体制整備に努めていかなければならないと考え、健康管理・健康づくりに生かせるようサポートを充実させ、介護予防として、サロン活動や脳若トレーニング教室、フレイル予防教室を実施し、介護予防事業を推進していく。

問 高齢者が、健康で生活できる体制整備とは、具体的には。

答 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に向け、取り組みを進めており、次年度から本格的に進めていく予定だ。

佐屋北保育園の跡地利用は

問 佐屋中央保育園と統合する佐屋北保育園の跡地利用は。

答 令和4年2月から庁内で「佐屋北保育園利用検討会」を立ち上げ、検討している。

問 子育てのしやすいまちとして児童館など子育て施設や高齢者と児童とが共に過ごす複合施設などはどうか。また、佐屋北保育園は指定避難所に指定されており、今後どうなるのか。

答 公共建築物の総量を縮減する方針により、新たに公共施設を作ることには考えていない。今後、地域活性化の視点に立ちつつ、有効な利用方法の検討を継続していく。



▲佐屋中央保育園と統合される佐屋北保育園